

経営比較分析表（令和4年度決算）

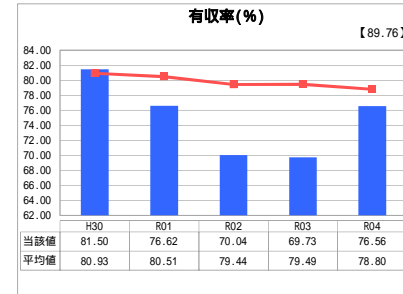
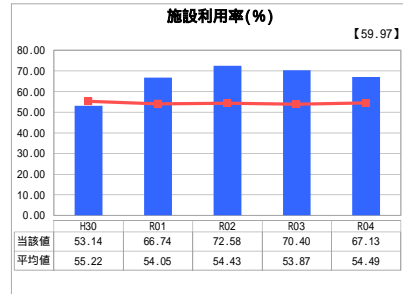
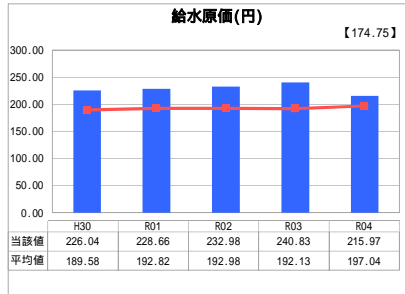
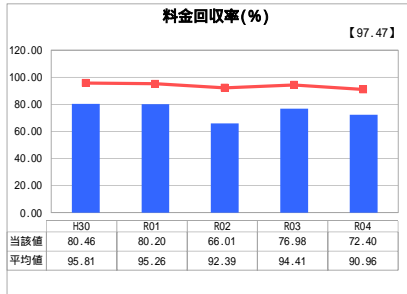
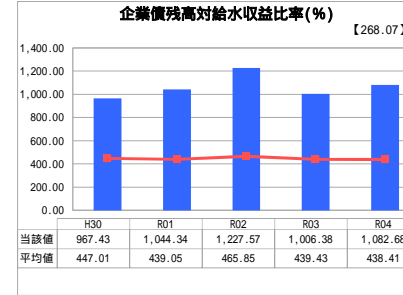
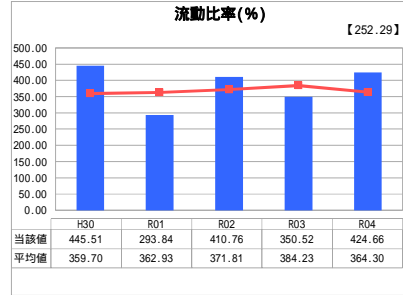
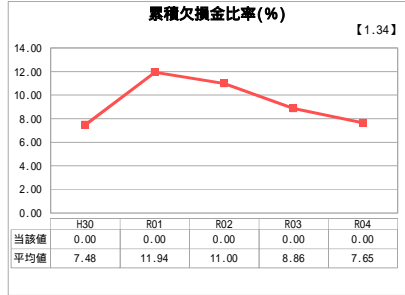
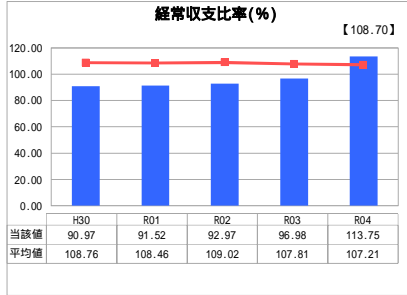
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	51.91	99.89	3,520	

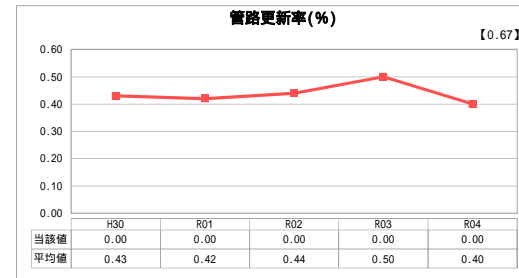
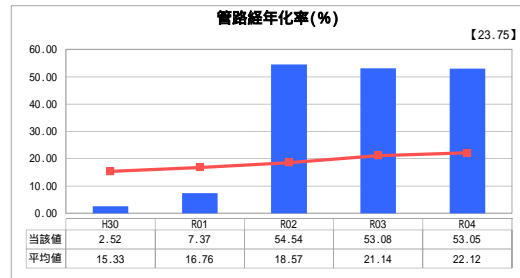
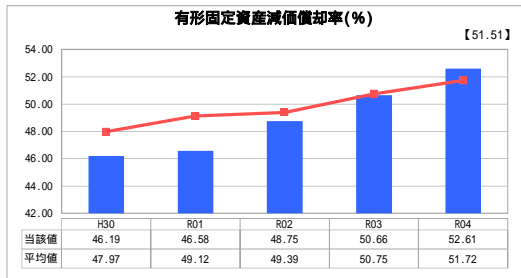
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,416	241.01	55.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,259	32.33	410.11

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は対前年16.77ポイントの増加により、100%を超えた。要因としては減価償却の減少が上げられる。しかし、給水人口は減少しており、老朽管修繕等の経費の増加が予想されるため厳しい状況が見込まれる。

累積欠損金比率は累積欠損金を発生させていないため0で推移している。

企業債残高対給水収益比率に係る企業債残高は令和4年度に感染症拡大による経済支援のため、基本料金免除により、通常収入であった3年度に比べ、76.3ポイント増加した。

料金回収率は前述の基本料金免除の影響により、対前年比4.58ポイント減少した。また、人口減少による需要の低下に相反し給水原価の減少は見込めないためこれ以上の上昇は難しいと考える。

有収率は、対前年比6.83ポイント増加している。これは暖冬等の影響により、冬季の凍結による漏水の発生が減少した。しかし、送配水管の老朽化は進んでいるため、計画的な更新、漏水の早期発見が必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、送配水管の老朽化が進んでいるため、今後の計画的な更新が必要である。

管路経年率は、対前年0.03ポイント減少しており、改善している。ただし、類似団体平均より配水管等の老朽化が相当進んでいるため、管路更新を計画的に実施していく必要がある。

管路更新率は、全施設において老朽化がかなり進んでいるが、浄水場の紫外線及び膜の整備を行ったことによる企業債償還額の増加のにより収支状況は厳しい状況が続くものと考えられる。

今後は平成30年度に策定した「水道事業経営戦略」に沿って、計画的・合理的な経営運営を図るとともに、水道使用料の適正化などの検討を行い、経営の健全化に努める。

全体総括

水道事業の経営において、山間地域の多い当町では旧簡易水道施設が点在しており、施設の統廃合は地形的にできない状況である。管路延長も長く、維持管理費用の削減も限界がある。今後、基幹管路だけでなく配水管も相当老朽化しているため更新が必要となっている。

また浄水場の紫外線及び膜の整備を行ったことによる企業債償還額の増加のにより収支状況は厳しい状況が続くものと考えられる。

今後は平成30年度に策定した「水道事業経営戦略」に沿って、計画的・合理的な経営運営を図るとともに、水道使用料の適正化などの検討を行い、経営の健全化に努める。